

小学校第5学年 外国語活動 学習指導案

期 日 平成 24 年 10 月 23 日(火)第 5 校時
場 所 山鹿市立山鹿小学校 5 年 1 組教室
指導者 T 1 教諭 宮川 智可
T 2 A L T Andre Braga

1 単元名

「Lesson 9 What would you like? ランチメニューを作ろう」 (Hi, friends! 1 文部科学省)

2 単元について

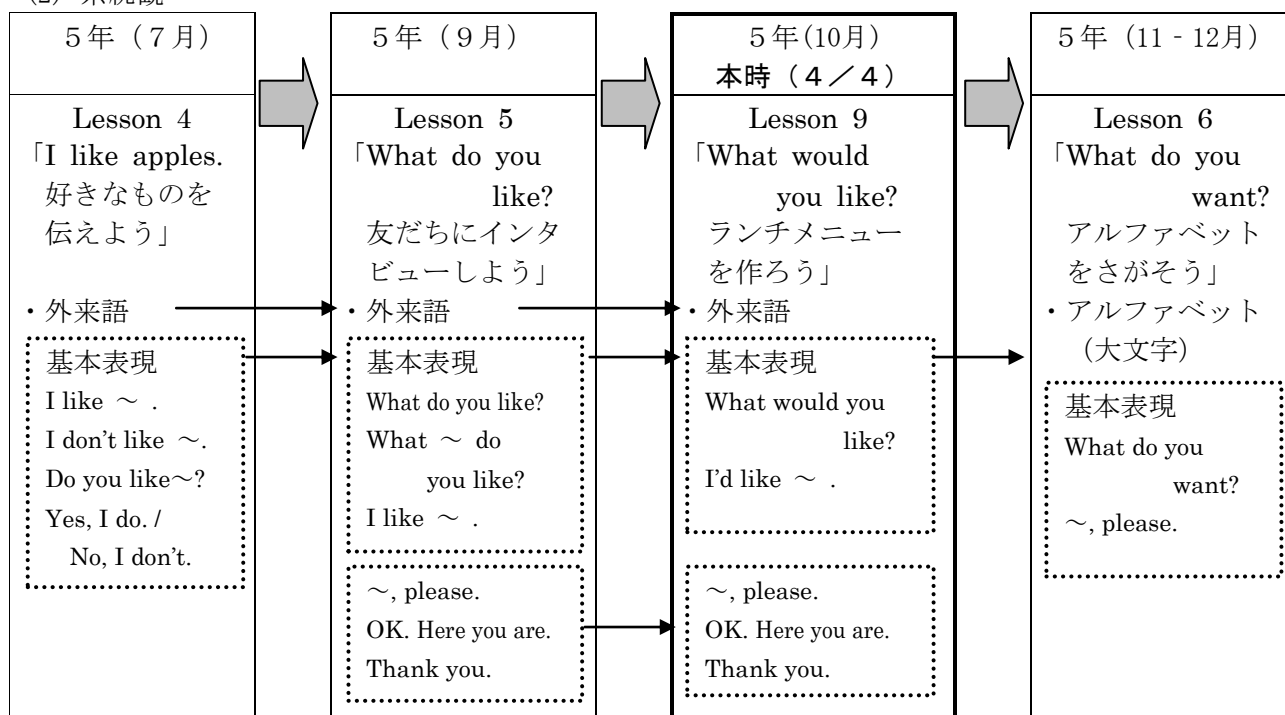
(1) 単元観

本単元は、世界の料理に興味を持ちその言い方に慣れるとともに、欲しいものについて丁寧かつ積極的に尋ねたり答えたりすることをねらいとしている。また、児童にとって関心が高いと思われる身近な食べ物に関する外来語や食事の場面を取り扱っており、積極的にコミュニケーション活動を行うことが期待できる単元である。

なお、児童はこれまで外国語活動において多くのコミュニケーション活動を体験してきたが、本単元で丁寧な英語表現及び外来語と日本語の音声やリズムの違いを知ることにより、言葉の面白さや豊かさを実感できるものと思われる。しかし、単に欲しいものについてやりとりするだけではなく、分かりやすく自分の意思などを述べることも求められる。はっきりとした発話、相手意識のある態度や表情など、自分の伝えたいことを明確にするためのグローバル・コミュニケーション力の育成を意識した指導が必要であると言える。

また、ここでは食べ物に関する表現を多く扱うため、家庭科や食育などの内容と関連付けて指導することが可能である。食文化の違いはもちろんのこと、自分達が栽培した作物を使つてのメニューを取り上げるなど、様々な条件や状況を備えたコミュニケーション活動を行うことで児童の思考力、判断力、表現力等を育成し、指導の効果を高めることが期待できる。

(2) 系統観



(3) 児童観

○本学級の児童数は男子 16 人、女子 19 人の計 35 人である。全体的に外国語活動に楽しく取り組んでおり、英語を使おうとする意欲も高い。

○日常生活や授業の中で発言することを苦手としている児童が数人見られるが、外国語活動を通して、

自己表現することや友達とコミュニケーションを図ることの楽しさを徐々に感じ始めている。

○これまでの外国語活動の取組の中で、「自分はどうか」と自己決定させる場面を意識的に取り入れてきた。しかしながら、まだ自己決定がなかなかできない児童もあり、支援が必要である。

(児童アンケート結果より：一部抜粋 10月実施 35人対象)

	質 問	結 果 (数字は人数)
(1)	外国語活動の授業は好きですか。	とても好き (19) 好き (14) あまり好きではない (2) 好きではない (0)
(2)	英語で、相手の好きなものを尋ねたり答えたりする活動は好きですか。	とても好き (14) 好き (16) あまり好きではない (5) 好きではない (0)
(3)	相手の言いたいことがよく分からないときや自分の言いたいことがうまく伝えられないとき、あなたは どうしますか。	何とか話を続ける (26) あきらめる (4) その他 (5)

○アンケートの結果から、学級のほとんどの児童が外国語活動を好きであることが分かる。

○Lesson 4 及び Lesson 5 で学習した内容である「英語で相手の好きなものを尋ねたり答えたりする活動」については30人の児童が好きであると回答したものの、5人の児童が「あまり好きではない」と回答している。その理由として、人前で何かを言うことについての苦手意識を挙げている。

○「相手の言いたいことがよく分からなかったり、自分の言いたいことがうまく伝えられなかったりするときどうするか」という質問については、「何とか話を続ける」と回答した児童が26人、「あきらめる」と回答した児童が4人であった。「その他」については、「他の人に聞きながらであれば続けられる」「日本語を入れてよければ続けたい」と回答した児童がほとんどであり、全体的にコミュニケーションの継続に関する意欲が高いと言える。

○単純なゲームや基本表現の繰り返しだけでは飽きる傾向にあり、児童の知的好奇心を刺激する学習活動をどんどん取り入れていく必要がある。また、言葉や文を練習するよりも、Lesson 5 で行ったTシャツ作りのように、友達とコミュニケーションをしながら何かを作り上げる活動をやってみたいと思っている児童が多い。

(4) 指導観

○新しい単語や表現は、活動を工夫しながら十分に聞かせたり言わせたりする。

○ゲームやチャンツについては、児童が思考・判断しながら取り組むことができる内容とする。

○ペアやグループなど、友達とかかわり合いながらコミュニケーションを図る活動を多く取り入れる。

○英語やジェスチャーなどを使いながら、自分の言いたいことをどうにかして伝える活動を積み重ねていく。

○活動に目的を持たせ、自分で考えたり選んだりする活動になるよう工夫する。

○家庭科や総合的な学習、食育の内容と関連付けたコミュニケーション活動を展開する。具体的には、総合的な学習の時間に栽培した米や大豆、地域の特産品を使ったメニューを扱う内容とする。その際、栄養士の先生に聞いた給食のメニュー作りのポイントや栄養価、地産地消の話などと関連付けながらメニューを考えられるようにする。また、授業で選ばれたメニューや給食のメニューとして適するものは実際に学校給食に取り入れてもらえるということで、児童の意欲が高まることはもちろんのこと、学習したことが児童の実際の生活に結び付くこととなる。

○Lesson 5 では、教育実習の先生のために自分達がデザインしたTシャツを贈り、交流を行った。今回も完成したメニューを先生に贈り、手紙等のやりとりを行う予定である。学校や地域のことを覚えてほしいという願いを込めることで、児童の意欲が高まると考える。ここでは、活動の目的を現実の場面に生かせるものにすることと、人とかかわりを意識させることでコミュニケーション活動の内容を工夫したい。

Aプロジェクト 思考力、判断力、表現力等の育成の視点から	
コミュニケーションは、常に自分と他者の関係性の中で進行していく。その際、場面や状況、相手の意向を的確に判断しながら新出や既習の表現を適切に使用していくことが求められる。このことから、本領域において思考力、判断力、表現力等を育成するためには、様々な条件や事柄と関連付けたコミュニケーション活動が必要である。 そのために本単元では、新しい単語や表現に慣れ親しんだりその表現を使ってコミュニケーション活動を行ったりする際には、単に繰り返して聞いたり言ったりする活動だけではなく、児童自らが目的を持ち、思考・判断（決定）してそれを表現する活動を多く取り入れる。また、このことで、自分の意思に基づいて積極的にコミュニケーションを図ることを促す。 具体的には、家庭科や総合的な学習、食育との関連を図りながらメニュー作成に取り組む中で、説明する活動や欲しいものについて丁寧に尋ね合うコミュニケーション活動を行い、状況に応じた思考力、判断力、表現力等を身に付けさせる。	

3 単元の目標と評価規準

単元の目標	世界の料理に興味を持ち、その言い方に慣れるとともに、欲しいものについて丁寧に尋ねたり答えたりしようとする。
コミュニケーションへの関心・意欲・態度	欲しいものを相手に丁寧に尋ねたり伝えたりしながら、積極的に気持ちのよいコミュニケーションを図っている。
外国語への慣れ親しみ	メニューなど、欲しいものについて丁寧に尋ねたり言ったりしている。
言語や文化に関する気付き	① 世界には様々な料理があることに気付いている。 ② 欲しいものを尋ねたり言ったりするための丁寧な表現があることに気付いている。

4 指導・評価の計画（4時間取扱い 本時4／4）

時	学 習 活 動	指 導 上 の 留 意 点 ※プロジェクトの視点から	評価基準（基準B） （評価方法）
1	○世界の様々な料理の英語での言い方を知り、慣れ親しむ。	・日本語と英語の音声の違いに児童が自ら気付くように、様々なゲームを取り入れながら練習させる。 ※カードを使って十分に発話させたり、3ヒントゲームによって新しい語を推測させたりする。また、3ヒントゲームは児童にもヒントを考えさせ、発想する力を付ける。 （形、色、味、見た目などを手がかりとする）	外国語への慣れ親しみ （行動観察・振り返りカード点検） 様々な料理を表す英語を聞いたり言ったりしている。 言語や文化に関する気付き① （行動観察・振り返りカード分析） 様々な料理に興味を持ち、英語と日本語ではその言い方が違うことに気付いている。
2	○欲しいものについて丁寧に尋ねたり伝えたりするための言い方を知り、その表現に慣れ親しむ。	・基本表現に十分慣れ親しむことができるように、いろいろな活動の中でその表現を使うようにさせる。 ※インフォメーション・ギャップを使った活動や児童の発想を生かすための3ヒントカルタを行う。	外国語への慣れ親しみ （行動観察・振り返りカード点検） 丁寧な表現を使って、欲しいものを尋ねたり言ったりしている。 言語や文化に関する気付き② （行動観察・振り返りカード分析） 欲しいものを尋ねたり言ったりするための丁寧な表現があることに気付いている。

3	○丁寧な言い方でのやりとりを心がけながら、ペアで目的に合ったランチメニューを作る。	・できるだけ英語だけでやりとりをしながら、メニューを完成させていく。 ・総合的な学習の時間に栽培した米と大豆を使ったメニューを考えさせる。 ・食育の一環として事前に栄養士の先生から聞いた話を参考にさせる。 ※食材名、色、形、方向（右、左）などを手がかりに、英語でやりとりをしながら自分達のメニューを完成させる。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (行動観察・振り返りカード点検) 丁寧な表現を使って、欲しいものを友達と伝え合いながらランチメニューを作ろうとしている。
4 (本時)	○みんなでメニューを紹介し合い、“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を決定する。	・自分達の作ったメニューについて英語で説明する。 ・丁寧な表現を使ってやりとりをしながら“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”にふさわしい組合せを考えて、主食・おかず・デザートを選ぶ。 ※コミュニケーション活動を通してオリジナル・ランチメニューとして最もふさわしい組合せを考えるだけではなく、その簡単な理由も付け加えさせ、アピール・ポイントや自分の思いを伝えさせる。	コミュニケーションへの関心・意欲・態度 (行動観察・振り返りカード点検) “山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を作るために、欲しいものについて、丁寧な表現を使って進んで友達とやりとりをしようとしている。

5 本時の学習

(1) 目標

自分達で考えたメニューを英語で紹介し、“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を完成させる。

(2) 評価基準 コミュニケーションへの関心・意欲・態度（行動観察・振り返りカード点検）

（基準B）“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を作るために、欲しいものについて、丁寧な表現を使って進んで友達とやりとりをしようとしている。

(3) 展開

過程	学習活動【学習形態】	主な発問・指示等	指導上の留意点及び評価 ※Aプロジェクトの視点	備考
導入 5分	1 あいさつをする。 【一斉】	○Hello, everyone. How are you?	○外国語活動の雰囲気作りをする。	カード ランチメニューカード
展開 35分	2 チャンツを行い、基本表現を復習する。 【一斉】	○Let's chant. What would you like? I'd like ~.	○カードを使って行い、自分が欲しいものについて考えながら活動する。 ○本時のコミュニケーション活動に必要な表現を十分言わせる。	
	3 本時の目標を確認する。 【一斉】	自分達で考えたメニューを英語で紹介し、“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を完成させよう。		
	4 自分達で考えたメニューを紹介する。 (1) デモンストレーションを見て、やり方を理解する。 【一斉】 (2) ペアで練習する。 【ペア】 (3) 自分達のメニューを紹介する。 【ペア／一斉】	○今日のNo.1メニューは給食で本当に作ってもらえますよ。そしてお世話になった～先生にもこのことを伝えましょう。 ○I'd like～.を使って紹介しましょう。 ○必ず英語を使って、ペアで紹介できるようにしましょう。 ○メニューを見せながら、はっきりと相手に伝わるように紹介しましょう。	○ALTとのやりとりを見せてやり方を理解させるとともに、自分達の紹介の仕方をイメージさせる。 ○1分程度で紹介させる。 ○活動がスムーズに進まない児童については支援を行う。 ○自分達のメニューについて、相手が理解できるように発表させる。また、アピール・ポイント(色、形、味、見た目、栄養など)についても付け加えさせる。	
5 紹介を聞いて、“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”の組合せを選ぶ。 【一斉】 (1) 主食・おかず・デザートから、それぞれ一つずつ好きなものを選ぶ。 (2) “山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を決定する。	○デモンストレーションを見て、やり方を理解しましょう。 ○What would you like? I'd like～. ○丁寧な気持ちのよいやりとりを心がけて、気に入ったメニューを選びましょう。 ○一番人気があったメニューを組み合わせで“山鹿小オリジナル・ランチメニュー”を決定しましょう。	○教室内のテーブルの配置等を工夫し、活動しやすくする。 ○活動の中で、What would you like? I'd like ~. という表現を使いながら、丁寧に気持ちのよいコミュニケーションを行わせる。 ※活動の目的を意識させ、欲しいものについて、思考・判断しながら、丁寧な表現で積極的にコミュニケーションを図ることができるようにする。	トレーメニューのカラー・コピー 電子黒板 実物投影機	
整理 5分	6 学習したことを振り返る。 【一斉】	○Let's look back at today's class. ○振り返りカードに記入する。	○ALTから見た児童のよさも伝える。 ○本時の学習と自分自身を振り返らせ、次の学習への意欲を高めるとともに、互いのよさに気付かせ、認め合う場とする。	振り返りカード
	7 あいさつをする。 【一斉】	○Thank you.		